

## 令和3年度 亀山中学校 具体的行動計画 学校自己評価表 I

重点目標	【1】自ら学習に取り組む生徒を育てる。	学校自己評価：B	
		〔評価〕 A：達成 B：概ね達成 C：不十分	
行動計画及び目標値	達成状況・評価結果	成果や課題、今後の方針 等	評価
<p>&lt;行動計画&gt; (1) 学力保障の取組を進める。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・ 学びたいむ実施年間20回以上 ・ 亀中スタD a y実施年間15回以上 ・ 朝読、朝学の実施状況生徒自己評価90% 89.7%(30年)、89.2%(R元年)、91.1%(R2年) ・ 生徒・保護者の授業理解に対する自己評価80% 生徒 86.0%(30年)、88.5%(R元年)、89.6%(R2年) 保護者69.0%(30年)、70.8%(R元年)、74.2%(R2年)</p>	<p>・ 学びたいむ・亀中スタD a y実施回数 12回(12月末現在) 参加生徒数延べ 990人(1年360人、2年351人、3年279人)</p> <p>・ 朝読、朝学の取り組み状況生徒自己評価 ←生徒【全体87.3%、1年85.2%、2年88.7% 3年88.0%】 ・ 授業理解に対する自己評価 ←生徒【全体87.3%、1年86.5%、2年86.2% 3年89.1%】 ←保護者【全体64.3%、1年53.6%、2年69.2%、3年70.3%】</p>	<p>・ 学びたいむと亀中スタD a yを合わせ、定期テスト前に2日～5日間集中して行った。生徒がテスト範囲に関わる学習内容に集中して取り組める点や教員の働き方改善の点では成果があったが、学力保障の面では課題が残った。来年度は、基礎学力定着に向けて効果的な亀中スタDayのやり方を検討し改善する。</p> <p>・ 朝読、朝学の取り組みに関して、昨年度を下回る結果となった。朝の短学活での学習活動や読書活動の充実をはかる必要がある。</p> <p>・ 授業改善について学校全体で取り組んできたが、授業理解の自己評価にはつながっていない。今年度の取り組み内容をしっかりと見直した上で、次年度へ引き継いでいく。</p>	B
<p>&lt;行動計画&gt; (2) 読書習慣の形成を図る。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・ 生徒の年間読書冊数(12月末) 6,800冊以上 ・ 生徒一人当たり年間15冊以上 ・ 朝読書の実施</p>	<p>・ 国語科、特別支援学級等で図書館を利用した学習ができており、図書館A Dの訪問による学習支援回数もおよそ月1回開催。 ・ 生徒の年間読書冊数(12月末) 6,707冊 8,400冊(30年)、7,307冊(R元年)、5,678冊(R2年) ・ 一人当たり年間冊数(12月末) 11.16冊 15.0冊(30年)、15.7冊(R元年)、10.3冊(R2年)</p>	<p>・ 本年度は、新型コロナウイルス感染症による臨時休校等もありながら、図書館利用や図書貸出冊数は昨年より増加した。昨年度、利用者が減少したことを受け図書委員会や学校司書が取り組んだ図書館利用を促すキャンペーンの成果であると思われる。日常的に図書館を訪れる生徒は多く、学校司書を中心として図書館環境は整備されている。</p> <p>・ 例年読書時間は3年生時に減少する傾向にある。受験に向けた学習時間の増加によると考えられる。そのため望ましい読書習慣を1、2年時に定着させていく。</p>	B
<p>&lt;行動計画&gt; (3) 家庭での学習習慣の定着を図る。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・ 学習の手引きの見直しと活用 ・ スタD a yノートを活用した全学年統一の取り組み ・ 生徒、保護者アンケートでの家庭学習実施率60%以上</p>	<p>・ 全国学力調査より 「家で自分で計画を立てて勉強していますか」 63.7%(本校) 65%(三重県)</p> <p>・ アンケート「家庭で毎日勉強していますか」 &lt;生徒&gt; 71.0%(R元年)、72.3%(R2年)、65.8%(R3年) &lt;保護者&gt; 61.5%(R元年)、62.2%(R2年)、55.8%(R3年)</p>	<p>・ 家庭での学習習慣の定着については、昨年度を大きく下回る結果となった。ICTを利用するなど家庭での学習スタイルも新しく変わりつつあるが、学習の手引きや「スタD a yノート」、授業での宿題の出し方に関して見直し指導の強化を図るとともにPTA活動などを通して保護者との連携した取り組みとしていく。</p>	C
<p>&lt;行動計画&gt; (4) 主体的に学ぶ授業を創造する。 ・ 学力向上推進計画に基づく具体的な取組の推進</p> <p>&lt;目標値&gt; ・ 「授業の理解度」生徒【85%】 ・ 「授業への集中度」生徒【90%】 ・ 「学力が身につけている」生徒【80%】</p>	<p>「授業の理解度」生徒【87.3%】 86.0%(30年)、88.5%(R元年)、89.6%(R2年) 「授業への集中度」生徒【92.7%】 93.2%(30年)、93.8%(R元年)、93.2%(R2年) 「学力が身につけている」生徒【85.5%】保護者【60.6%】 生徒 82.2%(30年)、85.3%(R元年)、85.3%(R2年) 保護者 64.6%(30年)、68.7%(R元年)、66.5%(R2年)</p>	<p>・ 「授業への集中度」や「授業への理解度」の問いに対しては昨年度をやや下回ったが、「学力が身につけている」に対して生徒の回答は向上しており、一定の評価ができる。保護者、教職員の回答では、生徒ほど高くはなっていないため、継続した取り組みを行っていく。</p> <p>・ 新学習指導要領の完全実施となり、教科における指導と評価の一体化、授業での絆づくりに向けて研修に取り組んだ。生徒が主体的に課題を解決し学びを深められるよう、さらなる授業改善の取り組みが必要である。</p>	B

## 令和3年度 亀山中学校 具体的行動計画 学校自己評価表Ⅱ

重点目標	【2】人権感覚豊かで、命を大切に育てる生徒を育てる。	学校自己評価：B	
		〔評価〕 A：達成 B：概ね達成 C：不十分	
行動計画及び目標値	達成状況	成果や課題、今後の方針 等	評価
<p>&lt;行動計画&gt; (1)人権教育を推進する。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・人権教育推進委員会を週1回開催 ・出会い学習、人権フォーラムの開催 ◇アンケート数値目標 「人権学習や講演会に真剣に取り組んだか」【85%以上】 生徒 93.7%(30年)、90.5% (令和元年)、92.4% (R2年) 保護者83.3%(30年)、83.8% (令和元年)、90.0% (R2年)</p>	<p>・人権教育推進委員会 定例化により週1回開催 ・各学年別に人権学習計画を検討し、人権教育推進委員会において系統性を検討 ・亀山中学校校区人権ネットワーク協議会において、人権教育における小中連携と9か年計画の実施と見直し ・人権や道徳の年間計画に沿って、総合や道徳の時間に系統的な学習を行った。</p> <p>・アンケート「人権学習や講演会に真剣に取り組んだか」 生徒 93.5% 保護者 66.4% 職員 90.9%</p>	<p>・人権教育9か年カリキュラムに基づき、各学年の人権学習を行った。校区人権フォーラムでは、人権サークル「ヒューマンライツ」のメンバーが参加し小学生と交流し学習を深めることができた。 ・学年別人権フォーラム、いのちの日講演会などにおいて、生徒の前向きな学習姿勢が見られた。年間を見通して生徒の現状や課題に応じて計画的に取り組む必要がある。 ・校内の活動のほか、三中交流会、ヒューマンフェスタや亀高フレンドリークラブ発表会、生徒会研修会などの行事、また多くの作文応募などで幅広く活躍する生徒の姿があった。またこれらの教育活動が保護者に伝わるよう情報発信していく。</p>	A
<p>&lt;行動計画&gt; (2)生き方を学ぶ教育を推進する。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・性、進路、共生等生き方を学ぶ講演会の実施 ・「いのちの日」講演会の実施</p>	<p>○1年 ・交通安全教室 (6月) ・環境学習講演会 (11月)</p> <p>○2年 ・救急救命講座 (11月) キャリア教育講演会 (12月)</p> <p>○3年 ・広島平和学習 (9月)</p> <p>○全学年・三送会、いのちの日講演会 (2月) 講師 佐藤敏郎さん</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症のため、外部から講師を招いた講演会や授業を行う回数が減ったものの、各学年の実情に合わせて効果的に実施することができた。 ・本校には外国にルーツを持つ生徒が40名ほど在籍している。家庭的な背景や学力の定着の面で課題を抱える生徒も多い。自分のルーツに誇りを持って思いを発信でき、互いに文化や伝統の違いを尊重し合える学習をさらに推進していく必要がある。</p> <p>・今年は「いのちの日」の講師に佐藤敏郎さんを招きオンラインで講演会を行った。東日本大震災の遺族でもあり当時中学校教員であった佐藤さんから、震災を知らない生徒たちが学ぶものは大きかったように思う。今後も生徒の生き方、考え方を深められるような講演会や学習を継続していく。</p>	B
<p>&lt;行動計画&gt; (3)「仲間づくり」を土台とした学級経営を推進する。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・視点生徒を設定した学級づくりレポート交流年間2回 ・Q U、生活アンケート、学校評価アンケートの活用 ◇アンケート数値目標 「学校生活が楽しい」生徒【95%以上】 94.1%(30年)、94.6% (R元年)、96.3% (R2年) 「先生に気軽に相談できる」生徒【70%以上】 85.4%(30年)、81.6% (R元年)、81.8% (R2年) 「先生はいじめのない学級づくりにつとめている」生徒【85%以上】 95.5%(30年)、93.2% (R元年)、94.1% (R2年) 「先生は生徒のことをよく理解している」生徒【75%】 90.2%(30年)、90.6% (R元年)、91.6% (R2年)</p>	<p>・視点生徒の設定とレポート交流 年間2回実施。 ・Q U活用研修会の実施。 ・いじめアンケート調査と結果に基づく対応。</p> <p>←生徒【全体92.6%、1年90.0%、2年91.3%、3年96.6%】</p> <p>←生徒【全体82.7%、1年75.5%、2年80.1%、3年92.5%】</p> <p>←生徒【全体92.7%、1年89.2%、2年89.6%、3年99.5%】</p> <p>←生徒【全体91.9%、1年89.2%、2年89.0%、3年97.6%】</p>	<p>・本年度は「授業での絆づくり・学びあいを通じた確かな学力の育成」を目指して取り組んだ。「学びあい」を改めて定義し、生徒が主体となる学習の場づくりや絆づくりに努めた。</p> <p>・視点生徒を設定した学級づくりレポートの研修会を2回実施した。研修のグループ別に分かれて、取り組みにおける困り感や具体的な手立てについて交流し学んだ。</p> <p>・「学校生活が楽しい」「先生はいじめのない学級づくりに努めている」が前年度より下回っていることを重く受け止め、今後改善したい。特に、いじめを許さない仲間づくり、生徒同士の課題解決能力の育成、保護者との信頼関係の構築等に一層力を注ぎ取り組む。</p>	B

令和3年度 亀山中学校 具体的行動計画 学校自己評価表Ⅲ

重点目標	【3】自ら考え、主体的に取り組む生徒を育てる。		学校自己評価：B
〔評価〕 A：達成 B：概ね達成 C：不十分			
行動計画及び目標値	達成状況	成果や課題、今後の方針 等	評価
<p>&lt;行動計画&gt; (1) 生徒支援体制の充実を図る。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・生徒指導委員会、特別支援教育推進委員会を週1回開催 ・生徒アンケート、教育相談の実施と指導への活用 生活アンケート、教育相談を年間3回実施 「先生は生徒のことをよく理解」生徒【75%】 90.2%(30年)、90.6%(R元年)、91.6%(R2年)</p>	<p>・生徒指導委員会、特別支援教育推進委員会を週1回定例化して開催し、情報共有と対応について検討。 ・生徒指導委員会、特別支援教育推進委員会に取り上げられた生徒情報は担当から各学年部に伝えるとともに、職員会議でも情報の共有化を図った。</p> <p>・生徒アンケート、教育相談をそれぞれ各学期に1回実施(3回)</p> <p>←生徒【全体91.9%、1年89.2%、2年89.0%、3年97.6%】</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症による社会や家庭への影響が大きく、今まで以上にSNSや生活面での生徒指導課題が顕在化した。不登校気味の生徒や家庭への支援を行いつつ「魅力ある学校づくり」に一層取り組む必要がある。特別支援Coや生徒指導主事を中心に外部専門機関との連携をさらに密にし、情報の共有化と対応の検討をチーム学校で取り組む。</p> <p>・来年度も生活アンケート、いじめアンケート、教育相談等による生徒の状況把握と指導方法の検討を継続していく。事実を見逃さないよう、得られた情報を共有し、一人ひとりの生徒をより丁寧に見ていくことができるよう職員研修を重ね、実践へとつなげられるようにする。</p>	B
<p>&lt;行動計画&gt; (2) 生徒会が企画運営する活動を支援する。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・携帯、スマホの使用時間の制限運動。 「10 OFF」の取組 生徒【70%】 ◇アンケート数値目標 「校内美化に取り組んでいる」生徒【85%】 93.2%(30年)、91.9%(R元年)、94.9%(R2年)  「生徒会活動、委員会活動は充実している」生徒【90%】 93.2%(30年)、91.1%(R元年)、91.6%(R2年)</p>	<p>・本年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、全校が一堂に会する生徒集会は持つことができなかったが、放送機器やZoomにより各教室で視聴参加する形で開催することができた。</p> <p>・「10 OFF」の取り組み 12月末までに 15回実施 平均 80.1% ←生徒【全体92.9%、1年92.2%、2年89.0%、3年97.5%】  ←生徒【全体93.0%、1年92.3%、2年90.7%、3年96.0%】</p>	<p>・全校生徒で取り組む行事の回数が限られる中で、どのように学校全体に方針や活動を発信していくか、工夫やアイデアが必要である。来年度も生徒主体の活発な活動となるように、取り組みを継続していく。</p> <p>・毎日のスマホをはじめメディアの使用を22時までとし、毎週水曜日のスタDayノートの取り組みを充実させる「10 OFF」に全校で取り組むことができた。</p> <p>・美化委員会を中心に「学校環境デー」を6月に実施した。グラウンドや駐輪場等の除草作業を行い、環境整備に取り組んだ。</p>	B
<p>&lt;行動計画&gt; (3) 全校合唱の取り組みを進める。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・各学級での合唱コンクールに向けた話し合いと練習。 ・生徒集会で行う文化祭に向けた全校歌練習。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症対策のため、全校合唱の取り組みは実施できなかった。</p> <p>・文化祭では、合唱コンクールに向けた活動を通して学級づくりに取り組んだ。</p>	<p>・これまでは入学式、卒業証書授与式、文化祭などの学校行事の中で、全校合唱の取り組みを継続させてきたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、実施は困難となっている。学校の伝統を大切にしながら、今後については検討していく。</p> <p>・毎年文化祭で合唱コンクールを行ってきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染症予防のため、残念ながら実施することができなかった。各学級での合唱コンクールに向けた活動が、学級づくりに大きく寄与している。来年度の実施ができるよう計画していきたい。</p>	/

## 令和3年度 亀山中学校 具体的行動計画 学校自己評価表Ⅳ

重点目標	【4】生徒が参画する地域、保護者との結びつきを強くする取組を進める。	学校自己評価：B 〔評価〕 A：達成 B：概ね達成 C：不十分
行動計画及び目標値	達成状況	成果や課題、今後の方針 等
<p>&lt;行動計画&gt; (1) 地域行事、ボランティア活動の参加を促す。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・地域行事、福祉活動、ボランティア活動への参加。</p> <p>◇アンケート数値目標 「福祉活動、ボランティア活動に参加」生徒【50%】 55.7%(30年)、52.9%(R元年)、53.3%(R2年) 「積極的に地域行事に参加」生徒・保護者【75%】 生徒 78.6%(30年)、74.6%(R元年)、67.7%(R2年) 保護者 71.2%(30年)、71.5%(R元年)、52.0%(R2年)</p>	<p>・本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、福祉委員会による福祉施設訪問・ボランティア活動、地域行事への積極的な参加は実施できなかった。</p> <p>←生徒【全体51.0%、1年56.8%、2年35.3% 3年61.0%】 ←生徒【全体64.3%、1年69.3%、2年57.7% 3年65.9%】 ←保護者【全体39.2%、1年35.7%、2年39.0%、3年42.8%】 ※全国学調より 本校64.3% 三重県52.5%</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの地域行事や福祉活動が中止となった。来年度は、学校運営協議会との連携をさらに深め、状況に応じて地域行事やボランティア活動に積極的に参加できるように、啓発し呼びかけを行いたい。</p> <p>・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため全体的な数値は大きく下がったが、福祉活動、ボランティア活動、地域行事参加への意識は高く、例年は多くの生徒が各活動に参加できている。(三重県、全国との比較ではかなり高い) 来年度も、状況に応じて各活動への参加を推進していく。</p>
<p>&lt;行動計画&gt; (2) 学校だよりやHPでの学校情報の発信に努める。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・学校だよりの定期的発行と、各自治会への配布。 ・HPを随時更新し、タイムリーな情報発信。</p> <p>◇アンケート数値目標 「学校の様子を知らせているか」生徒保護者【85%】 生徒 92.3%(30年)、92.4%(R元年)、90.3%(R2年) 保護者 82.8%(30年)、85.9%(R元年)、88.9%(R2年)</p>	<p>・学校だよりは、12月末段階で発行部数38号を数え、日々の生徒の活動や様子の紹介や新型コロナウイルス感染症対策、全国学力学習状況調査やみえスタディチェックの結果の公表、時事を取り上げた投げかけ等、多岐にわたって校外に発信をしている。 ・学校ホームページは、学校や学年行事等の機会をとらえてタイムリーに学校の様子を発信した。</p> <p>←生徒【全体90.3%、1年89.8%、2年90.4% 3年90.9%】 ←保護者【全体88.9%、1年84.4%、2年88.3%、3年95.1%】</p>	<p>・今年度から「亀山中学校学校運営協議会」が発足した。学校の教育目標や解決すべき課題を学校、保護者、地域住民の三者で共有し、生徒が安心していきいきと活躍できる環境づくりのために今後も連携をさらに推進していく。</p> <p>・昨年度に比べ「学校だより」発行、ホームページの更新は、回数も多くタイムリーに校外に発信することができた。コロナ禍において地域や保護者に学校の様子を知ってもらうため、次年度においてもさらに積極的な更新を心がけ、情報発信に努めていく。</p>
<p>&lt;行動計画&gt; (3) 授業、行事の公開と学校改善の取り組みを進める。</p> <p>&lt;目標値&gt; ・学校行事の積極的な公開。 ・寄せられた感想や意見を検討し、学校運営に反映させる。</p>	<p>・亀中祭（体育祭、文化祭）11/2※保護者、地域観覧なし 広報部員9名</p> <p>・三送会・いのちの日講演会2/25※保護者、地域観覧なし</p>	<p>・本年度はコロナ禍の下、1学期に授業公開ウィークを設け、のべ106人の保護者と小学校の教員に授業の様子を参観していただくことができた。2、3学期は積極的な授業や行事の公開は実施できなかったが、来年度は状況に応じて「地域に開かれた学校づくり」の取り組みとして学校開放の場や方法を引き続き検討していく。</p> <p>・例年学校行事や講演会には多数の参加があり、好評であったため来年度も状況に応じて生徒や地域の実態に合った内容で取り組んでいく。</p>

## 令和3年度 亀山中学校 具体的行動計画 学校自己評価表V

重点目標	【5】教職員が働きやすい職場をつくる。	学校自己評価：B	
		〔評価〕 A：達成 B：概ね達成 C：不十分	
行動計画及び目標値	達成状況	成果や課題、今後の方針 等	評価
<p>&lt;行動計画&gt; (1) 総勤務時間の縮減を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間外勤務状況（4月～12月） 33.9h (R3年) 58.8h (30年)→52.6h (R元年)→32.3h (R2年)</li> <li>・ 有給休暇取得状況（4月～12月） 8.6日 (R3年) 14.1日 (30年)→13.9日 (R元年)→13.5日 (R2年)</li> <li>・ 定時退校日達成率 51.4%</li> <li>・ 月80h以上の職員 16人（12月末現在）4人（R2年度12月末）</li> <li>・ 衛生推進委員会（23回：12月末現在）18回（R2年度12月末）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働き方改革、総勤務時間縮減を目指し、行事の見直しや定時退校の推進を図った。教員の不足もあり昨年度（昨年2か月の臨時休業があり比較できない点もある）を下回る結果となったが一昨年よりは減少している。時間外勤務が80hを超える状況もまだ見られる。今後も個々の勤務状況の把握にとどまることなく、校務改善、働き方改革および見直しに取り組んでいく。</li> <li>・ 有給休暇取得状況、定時退校日達成率とともに数字が改善されていないが、時間外勤務時間の減少から考えると個々の働き方の工夫があるものと推測される。</li> </ul>	B
<p>&lt;目標値&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総勤務時間 9.2%縮減（令和2年度比）</li> <li>・ 定時退校日の設定 達成率75%</li> <li>・ 月平均時間外労働時間を5時間（1人）縮減</li> <li>・ 月80時間超の時間外労働者数年間延べ人数100人</li> <li>・ 年間休暇取得日数を1人1日増加</li> <li>・ 衛生推進委員会の開催（学期に1回以上）</li> </ul>			
<p>&lt;行動計画&gt; (2) 意欲が持てる職場環境づくりに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤務における満足度 15% 54%(29年)→74%(30年)→73.33% (R元年) →56% (R2年)</li> <li>・ 校内研修満足度 75%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒や保護者は学校生活に対して肯定的な評価はあるものの、教職員の満足度は昨年度を大きく下回る結果となった。新学習指導要領が実施されたことによる評価の見直しや研究発表に向けての研修や準備、さらに年度途中から教員が不足したことによる負担が大きかったと思われる。教職員が不足し、一人ひとりに負担を強いることとなり、勤務時間が長くなったり、満足度が低下したりした。しかし、大過なく1年を終えようとしているのは個々の教職員の熱意と努力の賜物であり、すべての職員に感謝したい。</li> <li>・ 今後はさらに同僚性を高め、お互いに学びあう関係性づくり、絆づくりを、まず教職員の中から推進していく必要がある。</li> </ul>	C
<p>&lt;目標値&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員満足度70%以上</li> <li>・ 校内研修の満足度80%以上</li> <li>・ 自己目標設定シート及び面談の効果的な活用</li> </ul>			

### <学校関係者評価（亀山中学校学校運営協議会）>

亀山中学校学校運営協議会（書面開催）において、学校自己評価について関係者評価を行った。家庭での学習習慣の定着や授業の理解度の向上のため、さらなる工夫が必要であること、また教職員の職場環境改善および総勤務時間縮減等に向けて働き方改革の一層の推進を図るよう提言をいただいた。全体的には概ね適正に評価されているとのご意見をいただいた。

学校では年度末に向けて校内での総括を行う中で、協議されたことをもとに、次年度の方向性を検討していくこととし、改善活動に取り組んでいく。